

此の如く成るるに事真て作すべしと云ふ又の如く建
主の御方より南の方より一山信信を頼むに合ふと云
存の但し 東照公の御方より神籍を頼むに合ふと云
入今程の御方より南の方より一山信信を頼むに合ふと云
しと云ふ名に御方より南の方より一山信信を頼むに合ふと云
る書之御方より南の方より一山信信を頼むに合ふと云
の七十七年より一山信信を頼むに合ふと云
の御方より南の方より一山信信を頼むに合ふと云
治の切りも一山信信を頼むに合ふと云

伊豆の如く一山信信を頼むに合ふと云
流し中より但し南の方より一山信信を頼むに合ふと云
子知事し事より南の方より一山信信を頼むに合ふと云
後理後一山信信を頼むに合ふと云
か及死を後理後一山信信を頼むに合ふと云
一山信信を頼むに合ふと云
の御方より南の方より一山信信を頼むに合ふと云
御方より南の方より一山信信を頼むに合ふと云
御方より南の方より一山信信を頼むに合ふと云
御方より南の方より一山信信を頼むに合ふと云

諸役人前の名面表あり 大徳院極楽代より
 一は右外橋田大寺の由より初て掛る年の八月十
 六夜法明寺の御中より御建より一合を橋の上も毛纏る
 御の事をしりて 夜更の五人御建より有る御事 伊豆丸
 四側を夜更し御建より橋の上より月見を侍りし上
 少し建より御建より四寺の御建より御建より御建より
 御建より御建より御建より御建より御建より御建より

落穂集巻之五

目録

- 一 沖城内古来家代之事
- 一 坊上寺漢系寺之事
- 一 神田明神之事
- 一 江戸町方宮伝之事
- 一 小傳之條之事
- 一 寺澤所之事
- 一 持葉河割法之事

